



令和5年度 3月号

川崎市中央療育センター通所 広報委員会

ちっちゃい

# は～あと通信



センターだより



いよいよ3月を迎え、今年度もあとわずかとなりました。

日が伸びてだんだん暖かくなり、春の訪れが感じられます。

春は入園や卒園、進級に入学と、お別れと新しい出会いの季節。

元気に前へ進んでいくお子さんと親御さんを、センター職員一同心から  
応援しています。

今回の「は～あと通信」は、通園部、言語聴覚士（ST）からの

情報をお届けします。



# 通園だより



今年度も残すところ、あと1か月になりました。4月からの1年間、お子さん達のたくさんの成長・笑顔が見られました。時には思うようにいかなく、悔しい気持ちをすることもありましたが、それを乗り越えて成長する姿は、4月に比べるととてもたくましいものになりました。1か月後には進級・進学を迎え、また新たな学年で成長していく姿を職員一同、楽しみにしています！

## 製作の紹介

療育で行う制作では、クラスはもちろんのこと、一人一人違うねらいを持って取り組んでいます。製作自体が苦手なお子さんに対しては、好きなように取り組めるようにしたり、好きなお子さんに対しては、ちょっと自信のない取り組み(はさみを使うなど)をあえてしてもらったりし、工夫して取り組んでもらっています。どれも個性溢れる作品となっております！！



## 風船遊びの紹介

活動の一つに風船遊びがあります。風船一つとっても様々な遊び方があるので、今回は風船を使った遊びをいくつかご紹介したいと思います。

### 風船マット

- ・膨らませた風船(圧縮袋に入る数)
- ・圧縮袋(大きめ)

膨らませた風船を圧縮袋に入れます。袋を閉じて掃除機で圧縮したら完成。



### 風船羽根つき

- ・膨らませた風船・うちわ・長めの紐

膨らませた風船の結び目に紐をくくりつけます。反対の先端を吊るせる場所に固定し、うちわで風船を打ち合います。



### 風船ボヨヨン

- ・膨らませた風船 ・ゴム紐

膨らませた風船の結び目にゴム紐をくくりつけます。フックなどを高め場所につけ、ゴム紐の反対側をしっかり結びます。ぶら下がった風船を引っばって「3・2・1」で離します。※引っ張った時ゴム紐がピンと張るぐらいだと勢いよく飛びます。



## 【発音がはっきりしないのは？】

### ◆発音の発達

#### • 発音の発達は個人差が大きい

2、3歳で発音が不明瞭であっても、あまり心配する必要はありません。発音の発達は個人差が大きく、1歳代できれいに発音するお子さんもいれば、4歳すぎてもはっきりしないお子さんもいます。他のお子さんと比べて「発音がはっきりしない気がする…」と心配になることもありますが、発達にともなって少しずつ明瞭になっていくと思われれます。



#### • 難しい音の代表は「さしすせそ」「らりるれろ」

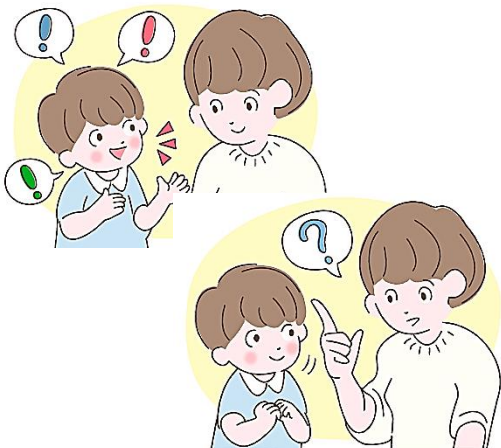
お子さんにとって「ママ」「ブーブ」「パパ」「ワンワン」などは比較的簡単に発音できます。お子さんにとって最も難しいのが「サ行」「ザ行」「ラ行」です。この音は難しく、6歳近くまで言えない子も珍しくありません。体の成長やことばの発達に伴って、自然に言えるようになる場合が多いです。



### ◆発音がはっきりしないときの対応

#### • 言い直しをさせるのはやめましょう！

お子さんが言ったことばに間違いがあっても言い直しをさせたり訂正するのはやめましょう。お子さんの「伝えたい、話したい」という気持ちを低下させ、お話が嫌いになってしまうかもしれません。



#### • さりげなく正しい発音で返しましょう！

お子さんがカラスのことを「タアチュ」と言ったら、「そうだね、カラスだね」と返事をしましょう。

あなたはあの黒い鳥のことを言ったのね、という気持ちで、いったんお子さんの気持ちを受け止めてから、正しい発音をさりげなく聞かせてあげることで、次第に正しい発音を学んでいきます。

#### • 「話し方」ではなくて「お話の内容」に注目しましょう！

「話し方」は耳につくので、どうしても気になってしまうかもしれませんが、お子さんの「伝えたい、話したい」という気持ちを大事にしながら「お話の内容」に注目してお子さんとのかかわりを楽しんでください。